

「大腿骨骨折地域連携パスからみた退院先に関する急性期病院の患者要因」
に関する研究のお知らせ

この度、以下の看護研究を実施することになりました。厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。該当する患者様で、本研究でご自身の情報を利用してほしくない方はお申し出ください。尚、患者様で申し出ができない場合はご家族様でも構いません。情報の利用を拒否することで皆様に不利益が生じる事は決してありません。この研究に関するご質問などがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会下さい。

【研究の名称】

「大腿骨骨折地域連携パスからみた退院先に関する急性期病院の患者要因」

【研究実施者】

松江赤十字病院 10 階病棟 看護係長：森山美鈴

(現在、島根大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期過程 看護管理学コース在学中)

【研究機関の名称】

松江赤十字病院

【研究の目的】

大腿骨の骨折をされた患者様が大腿骨骨折地域連携パスで回復期リハビリテーション病院に転院し、その後どのような回復状態でどこへ退院されたのかを調査し、自宅退院に関わる急性期病院の要因を明らかにしたいと考えています。この研究により、急性期病院入院中から退院後の生活を見据えた支援が行えるのではないかと考えています。

【方法】

研究対象：2017 年 4 月～2020 年 3 月までの期間で松江赤十字病院から大腿骨骨折地域連携パスで回復期リハビリ病院に転院され、その後退院となった患者様です。

研究方法：研究対象の患者様の電子カルテから以下の①～③のデータを集めます。

- ① 患者属性と入院前の背景（年齢、性別、術式、家族構成、介護度、認知症の有無、介護保険サービスの利用状況、屋内移動、屋外移動、排泄行動、住居）
- ② 転院時のデータ（機能的自立度評価、日常生活機能評価、認知症高齢者の日常生活自立度判定基、在院日数、患者及び家族の意向）
- ③ 回復期リハビリテーション病院退院時のデータ（機能的自立度評価、日常生活機能評価、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準、在院日数、退院先、介護サービスなどの利用の有無、患者及び家族の意向）

【分析方法の概要】

急性期病院転院時の状態と回復期リハビリ病院退院時の状態の変化と退院先との関連を統計学的に分析します。

【研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク】

本研究は退院後の患者様のカルテよりデータを収集します。この研究のために患者様の入院・外来通院に影響を及ぼすことはありません。本研究に伴う患者様の負担並びに予測されるリスク及び直接的な利益はありません。しかしながら、本研究を行うことで、今後の看護の実践に役立てる事ができ、大腿骨骨折で入院された患者様への看護の質向上に役立てる事ができると考えています。

【個人の情報管理】

データ収集の際には、電子カルテから得られたデータと個人名及び個人を識別できるデータを切り離し、匿名性を保護します。本研究は、島根大学大学院の博士前期課程の研究として行われ、研究責任者とデータを共有します。データの持ち出しに関しては病院から許可されたセキュリティ機能付きの USB メモリを使用し、厳重に管理します。研究発表・論文公表後 5 年後にはデータを消去・破棄します。

この研究は島根大学医学部看護研究倫理委員会と松江赤十字病院倫理委員会の承認を得ており、患者様の権利が守られることが確認されています。

【研究計画の閲覧研究計画の閲覧】

この研究について、研究計画に関する資料、ご自身に関するデータをお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人データや研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

【研究担当者および連絡先】

この研究に関してご質問がある場合や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが以下の連絡先へご連絡ください。尚、データ利用の拒否に関しては、分析開始後は個人を特定することが困難となり、分析のやり直しを行うことは研究期間に影響が出ることからお受けできませんので、2020 年 7 月 31 日までにご連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【連絡先・相談窓口】

<研究実施者>

住 所：島根県松江市母衣町 200 番地

電 話：0852-24-2111 (代)

担当者：松江赤十字病院 10 階病棟 看護係長 森山美鈴

対応時間：平日 8：20～16：50